

教育研究所だより



宮古島市立教育研究所
指導主事 砂川 睦紀
宮古島市平良字西里1140
TEL 73-1104

令和3年度幼稚園教育課程研究協議会 公開保育・研究発表会

11月30日(火)に仲地早苗先生(砂川幼稚園)、下地恵美先生(西城幼稚園)による、幼稚園教育課程研究協議会の公開保育と研究発表会が行われました。琉球大学で幼児教育を専門とする岡花祈一郎を招聘して、保育参観と研究発表への指導助言及び講話をしていただきました。



公開保育では、秋の自然物を使った「お店屋さんごっこ」で園児たちがそれぞれのグループごとに準備した「お店」でお友だちを楽しませ、そして自分自身も楽しんでいる姿がありました。まさに「あそびこむ」子ども達の姿がたくさん見られました。

幼児教育に関するセミナーなどに参加させて頂くと、「あそびこむ」という表現をよく耳にするのですが、それってどのような姿ですか？と質問したところ、右側の写真の様子が「あそびこむ」姿のひとつだそうです。お店屋さんごっこで買い物をしている、手持ちのお金がなくなりました。そこでその子は考えた・・・「お金をつくっちゃえ!!」



「あそびこむ」姿↑↑

あそびに集中して、その子ならではの発想で遊びを発展させていく姿。そして子ども達が「あそびこむ」ことができる環境をしっかりと用意している先生方。なるほど・・・深いです幼児教育。



← 研究協議で幼小接続に向けた取組について話し合う保幼小の先生方。充実した協議会となりました。



↑ 流れるお寿司屋さんで、たくさんのお客さんに戸惑う子もいたり・・・たからもの屋さんもれすたらんも大繁盛。



研究発表・協議会後の感想↓↓

〔研究発表〕

○研究発表を聞いて、子ども達の発言をひろって、子ども達がどういう風に進めていけるか配慮している場面がたくさん見られました。また、各学年との交流会を設けることはいろんな学びにつながるなど感じました。

〔協議会〕

○悩んでいることが一緒だったり、やりたいことが同じで、どう実現させていくか考えるきっかけになり良かったです。
○園でやっていることを1年の担任としてとても不勉強だったなど反省させられました。お互いにもっと時間をとって話し合えていたらより良くなっていくと感じました。